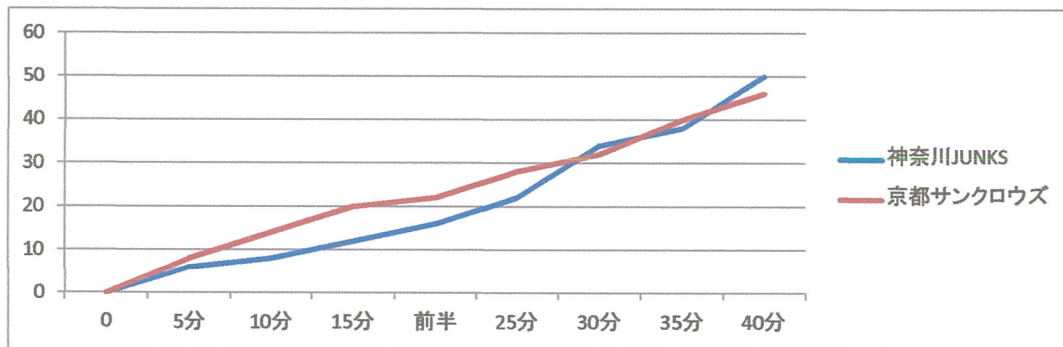


大会名	文部科学大臣杯争奪 第34回 日本車いすツインバスケットボール選手権大会											
期日	2024年6月23日(日)	会場	パルドラール浦安アリーナ									
A5	決勝	チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
		神奈川JUNKS					8	8	18	16		50
		京都サンクロウズ					14	8	10	14		46
主審:松元 健		副審:祖父江 達也		副審:三藤 康博		記録者:森 太一						

No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投		FT	反則	No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投		FT	反則
						2P	3P									2P	3P		
3	浅田 健太朗	1.5	円内	×	8	4			1	0	山中 泰紀	0.5	円内		0				
4	青木 颯志	3.5	上		4	2			4	1	林 篤伸	2.5	円外		4	2			
8	伊東 良平	2.0N	円内	×	18	9			2	3	藤本 伸一	1.0	円内		0				
10	斉藤 忠明	2.0H	円外		0					4	中畑 隆晟	4.0	上		4	2			
⑬	山口 貴久	2.0H	円外	×	2	1				⑤	岩間 裕也	1.5	円内		0				
14	佐々木 操	3.5	上		4	2				6	江田 祐紀	1.5	円内	×	10	5			1
16	弓削 健太	3.0	上		0					7	杉岡 奉一	4.0	上	×	0				1
18	高橋 正弘	3.0	上	×	0					8	鳳崎 泰治	2.0N	円内	×	22	11			2
21	石垣 謙一	4.0	上	×	14	7				9	鳩岡 登	3.0	上	×	4	1			2
24	齊藤 祐二	1.5	円内		0				1	12	松岡 幸夫	2.0H	円外	×	6	3			1
					0					15	西 佳代	0.5	円内		0				
					0										0				
コーチ					-	-	-	-	-	コーチ					-	-	-	-	-
合計					50	25	0	0	8	合計					50	24	0	2	7

◆ 得点経緯 ◆



### 【戦評】

#### 第1Q

決勝戦はサンクロウズ#9鳩岡のシュートから幕を開ける。神奈川JUNKSも#21石垣を中心にお互い一步も譲らず、決勝戦にふさわしい展開に。途中、JUNKSは流れを変えるべく#4青木を投入もオフェンスファールをとられ、サンクロウズ#8鳳崎が円内シュートを決めて離しにかかる。そして終盤にも#9や#6江田のシュートも決まり、6点リードでこのクォーターを終える。

#### 第2Q

このクォーターはお互いに一步も譲らない。JUNKS#21のシュートが決まると、サンクロウズも#12松岡が決め返す。JUNKSは流れを変えようとタイムアウトを取るも流れは変わらず、JUNKSもショットを多く放つがサンクロウズのブロックに阻まれなかなか得点することができない。その後も両者譲らず、このクォーターお互い8点ずつを重ね、16-22で前半を終了する。

#### 第3Q

後半入りはサンクロウズが立て続けに点数を重ねる。そこから両者スコアがとまる時間が続くも、JUNKS#21が均衡を破るとサンクロウズがタイムアウト。しかし、ここからJUNKSの猛追が始まる。#21のシュートから始まり、#3浅田、#8伊藤も続き、残り2分34秒で同点に追いつく。しかし、サンクロウズも意地を見せ、#8のシュートが決まるも、JUNKS#8がシュートを決めてこの試合ファーストショット以来のリードを奪い、第3クォーターが終了。JUNKS2点リードで最終クォーターへ突入する。

#### 第4Q

最終クォーター序盤、サンクロウズは30秒オーバータイムをとられるも#8の連続得点で逆転。しかしすぐにJUNKS#8も決め返す。その後もシーソーゲームとなるもサンクロウズ#4がシュートを決めてリードしたところでJUNKSタイムアウト。このあとJUNKSは30秒オーバータイムを誘発したところから流れをつかみ、3連続でオフェンスを成功させ4点リードを奪ったところでサンクロウズはたまたまタイムアウト。サンクロウズもタイムアウト明けに得点するもJUNKSも落ち着いてオフェンスを成功させ、最後は#4がボールキープをしてタイムアップ。JUNKSが大会休止期間をはさんで見事4大会連続6回目の栄冠を手にした。